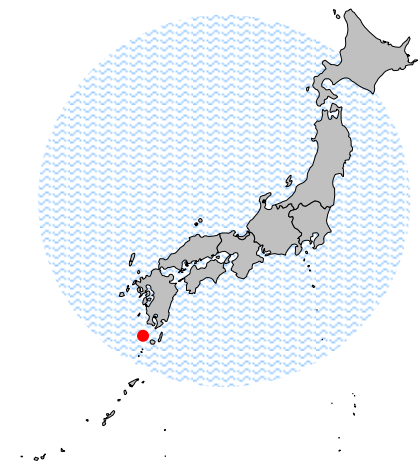


はっさくたいこおどり 八朔太鼓踊り

硫黄島 (いおうじま)



【場所】鹿児島県三島村
硫黄島島内全域



島の人口: 140人
島の面積: 11.74 km²
(平成17年国調)

硫黄島の八朔太鼓踊りは、盆踊、九月踊と並ぶ島の三大芸能の一つで、毎年旧暦8月1日と2日にかけて熊野神社に奉納されます。鉦を持った歌い手が歌い、矢旗を背負い太鼓を抱えた踊り手が独特の節に合わせて賑やかに踊ります。踊りが一通り終わった頃、異様な面を被った「メンドン(悪魔払いの神)」が現れ、見物人を追いかけてりして悪魔払いをします。2日目の踊りが終わると、人々は海岸に出て鉦や太鼓を打ち鳴らし、島中の悪霊を海に捨てる「タタキ出し」をします。勇壮な踊りと面や衣装の奇抜さ、矢旗の揺れの美しさなど、島の人々の熱気があふれ見ごたえのある踊りが繰り広げられます。

写真上：夕方、広場で始まる太鼓踊り
写真右：踊りの途中でメンドンが出てあばれる



問い合わせ先：国土交通省都市・地域整備局離島振興課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3

TEL 代表 03-5253-8111(内 33-144) 直通 03-5253-8421